

# 高齢者・要介護(要支援) 認定者の現状

平成29年6月

函館市保健福祉部

## 目次

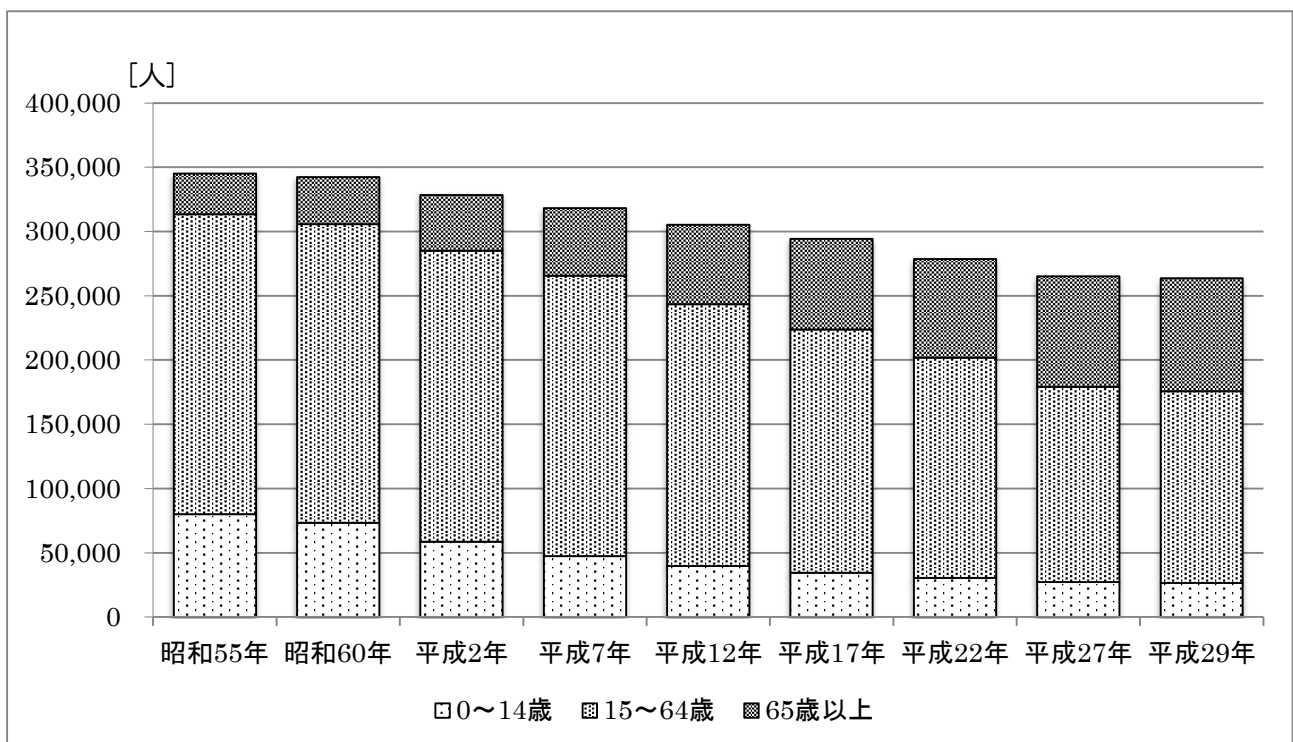
第1節 高齢者の現状 .....	1
1 人口の推移 .....	1
2 年齢別人口 .....	2
3 日常生活圏域別人口の推移.....	3
4 高齢者数の推移.....	4
5 日常生活圏域別高齢者数の推移.....	5
6 日常生活圏域別高齢化率の推移.....	6
7 高齢化率の比較.....	7
8 高齢者の世帯状況.....	8
9 日常生活圏域別高齢者の世帯状況.....	9
第2節 要介護（要支援）認定者の現状 .....	10
1 要介護（要支援）認定者数の推移.....	10
2 要介護（要支援）認定者の割合の推移.....	11
3 日常生活圏域別の要介護（要支援）認定者数と割合.....	12

## 第1節 高齢者の現状

### 1 人口の推移

本市の人口は、国勢調査によると昭和55年の34万5,165人をピークに減少傾向にあり、平成27年国勢調査（平成27年10月1日現在）では、人口は26万5,979人となり、5年前の平成22年国勢調査と比較すると、1万3,148人減少しています。

一方、65歳以上の人数（高齢者数）については、介護保険制度の始まった平成12年の6万1,855人に対し、平成29年3月末には8万8,064人と17年間で2万6,209人増加しています。



[人]

区分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成29年
総人口	345,165	342,540	328,493	318,308	305,311	294,264	279,127	265,979	263,706
0～14歳	80,038	73,429	58,732	47,487	39,591	34,369	30,474	27,131	26,580
15～64歳	233,334	232,185	226,263	218,185	203,855	189,327	171,405	152,154	149,062
65歳以上	31,712	36,644	43,411	52,607	61,855	70,459	76,637	85,931	88,064

\* 昭和55～平成27年は国勢調査（昭和55～平成12年は合併町村を含む）、

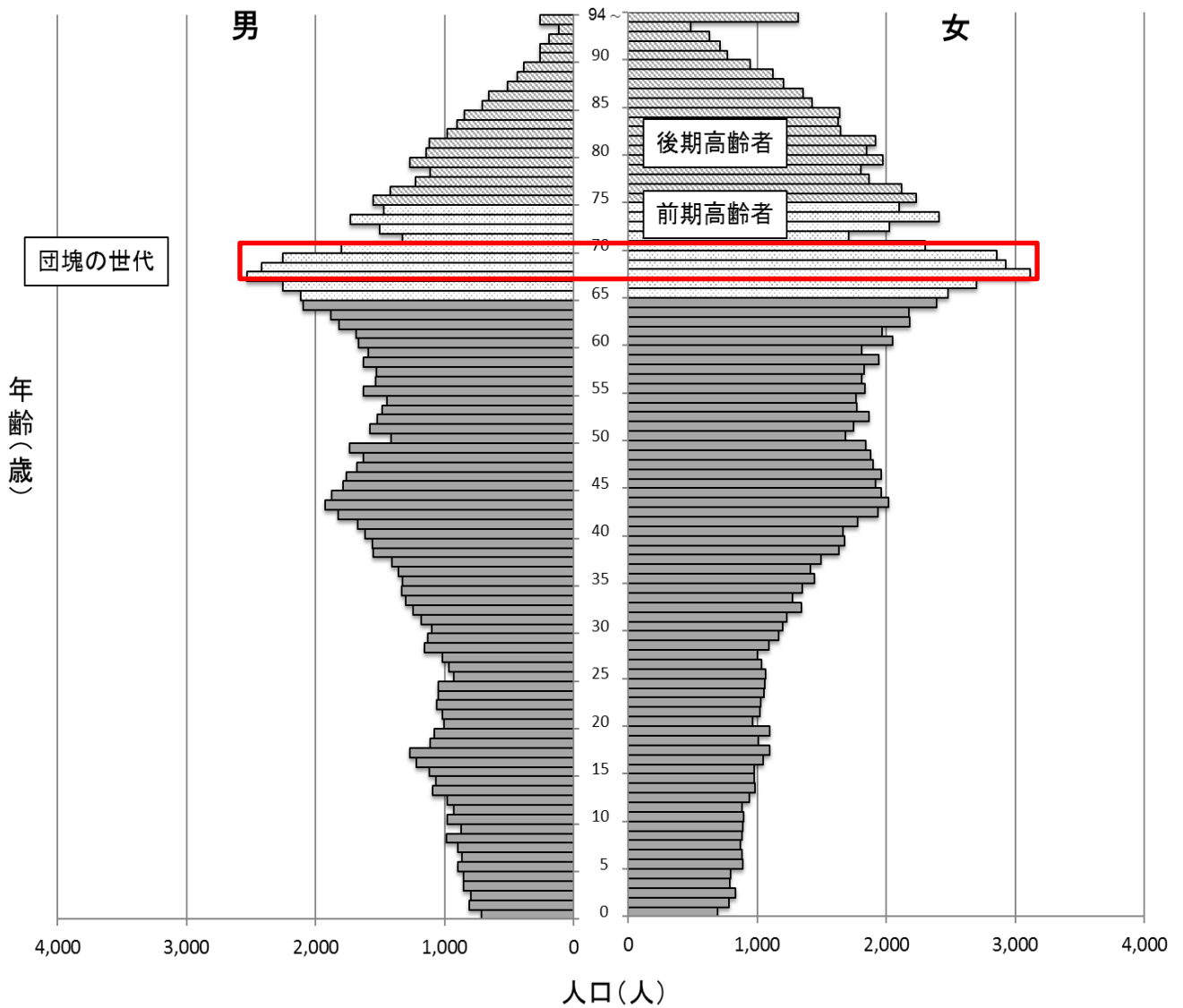
平成29年は3月末日現在の住民基本台帳を基に作成

\* 総人口には年齢不詳者数を含む

## 2 年齢別人口

本市の人口を人口ピラミッドで表すと、団塊の世代が人口のピークを形成していることがわかります。既に団塊の世代が65歳以上となっており、今後もさらに高齢者数が増加すると推測されます。

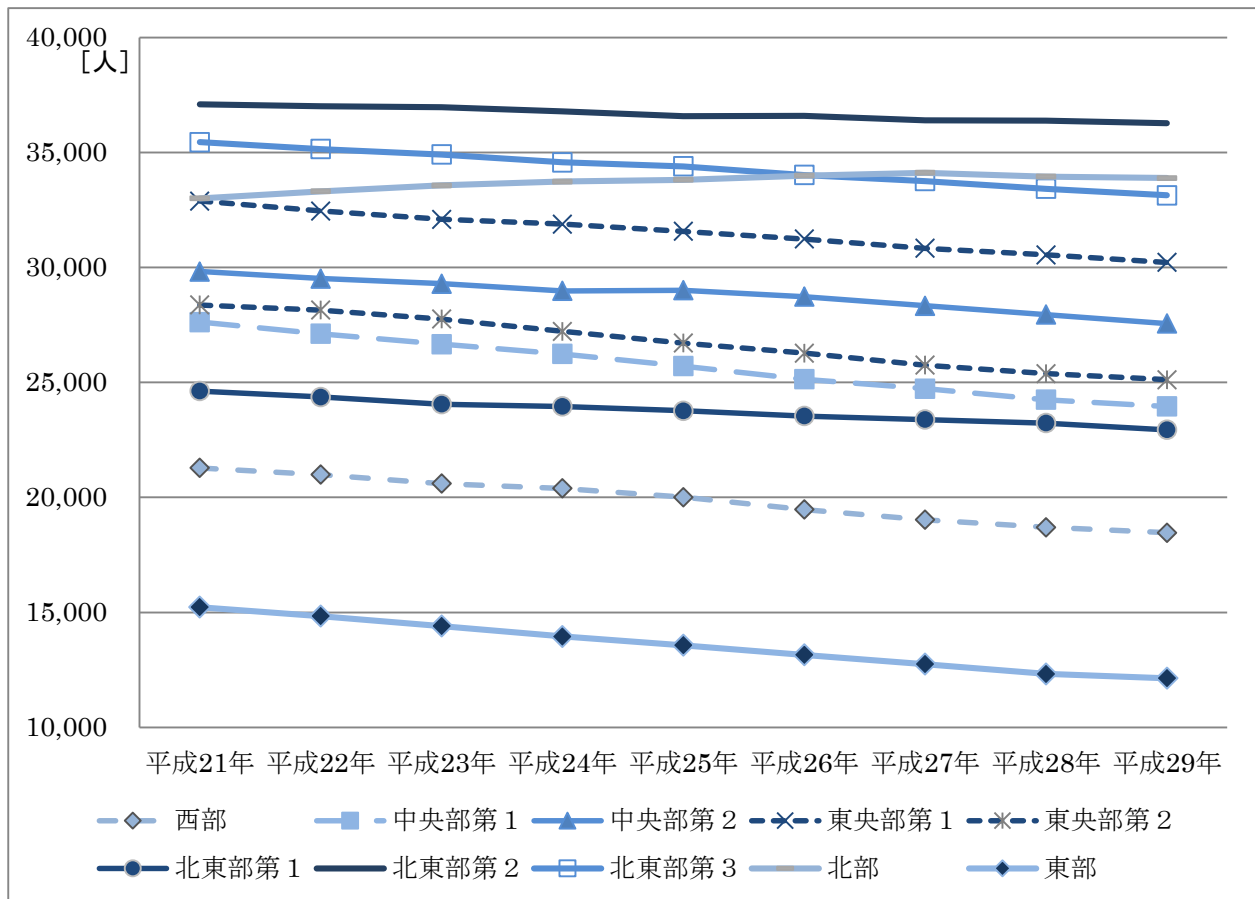
函館市の人口ピラミッド（平成29年3月末日現在）



\* 平成29年3月末日現在の住民基本台帳を基に作成

### 3 日常生活圏域別人口の推移

日常生活圏域別の人口は減少傾向にあります。北部圏域については、宅地開発が進められている地域があり、平成27年までは若干増加していましたが、平成28年からは減少となっています。



区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
西部	21,280	20,988	20,598	20,391	20,011	19,474	19,029	18,698	18,464
中央部第1	27,624	27,117	26,660	26,241	25,709	25,141	24,730	24,250	23,955
中央部第2	29,825	29,520	29,295	28,979	29,012	28,729	28,332	27,952	27,564
東央部第1	32,887	32,454	32,090	31,884	31,568	31,235	30,835	30,550	30,223
東央部第2	28,368	28,148	27,756	27,220	26,711	26,275	25,749	25,379	25,116
北東部第1	24,622	24,364	24,051	23,956	23,769	23,541	23,382	23,233	22,942
北東部第2	37,087	37,004	36,974	36,789	36,582	36,585	36,400	36,383	36,277
北東部第3	35,445	35,148	34,912	34,573	34,395	34,020	33,752	33,418	33,139
北部	33,002	33,309	33,567	33,736	33,811	33,993	34,119	33,949	33,886
東部	15,225	14,840	14,408	13,956	13,571	13,153	12,751	12,327	12,140

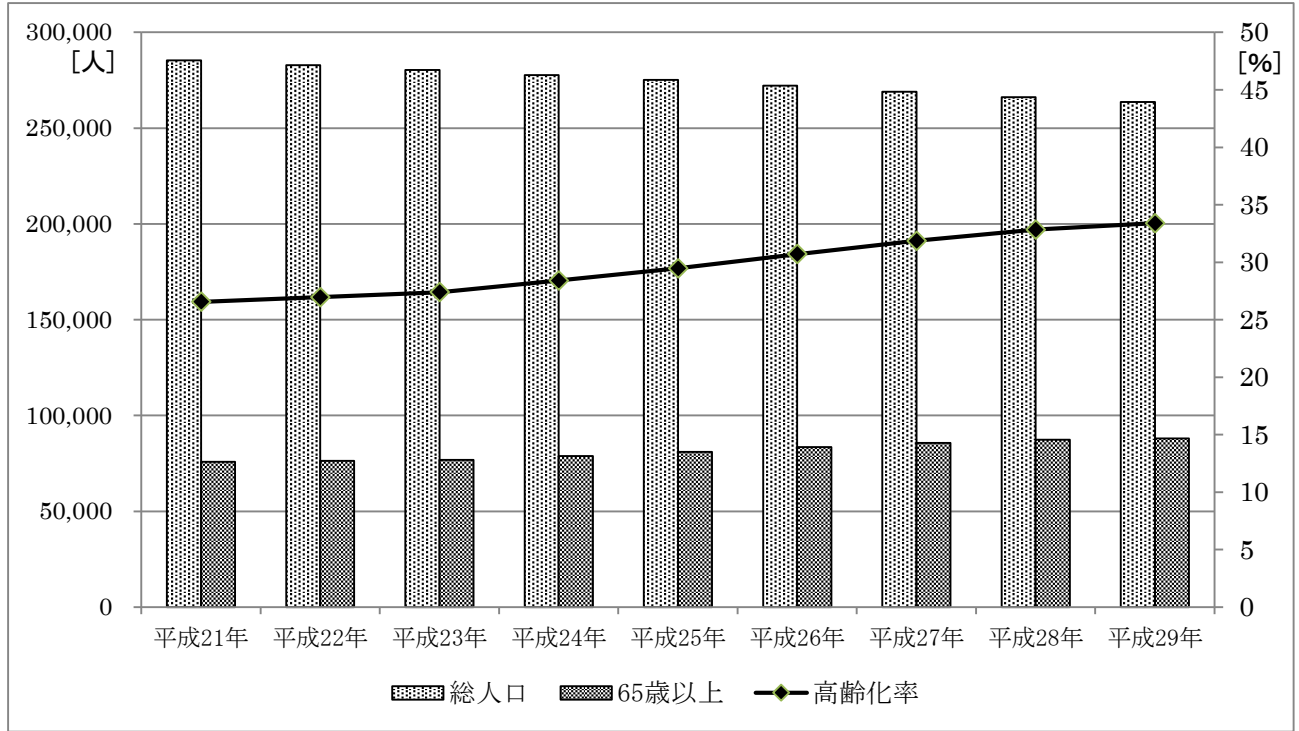
\* 住民基本台帳を基に作成（各年9月末日現在。ただし、平成29年は3月末日現在。）

\* 平成21～23年は外国人登録を含む

#### 4 高齢者数の推移

人口が平成21年から平成29年の8年間で2万1,659人減少しているのに対し、高齢者数（65歳以上の人数）は、8年間で1万2,296人増加しています。

本市の高齢化率は、高齢者数の増加に加え、総人口の減少が一層の上昇の要因となっています。



区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
総人口(人)	285,365	282,892	280,311	277,725	275,139	272,146	269,079	266,139	263,706
65歳以上(人)	75,768	76,283	76,794	78,886	81,073	83,582	85,721	87,389	88,064
高齢化率(%)	26.6	27.0	27.4	28.4	29.5	30.7	31.9	32.8	33.4

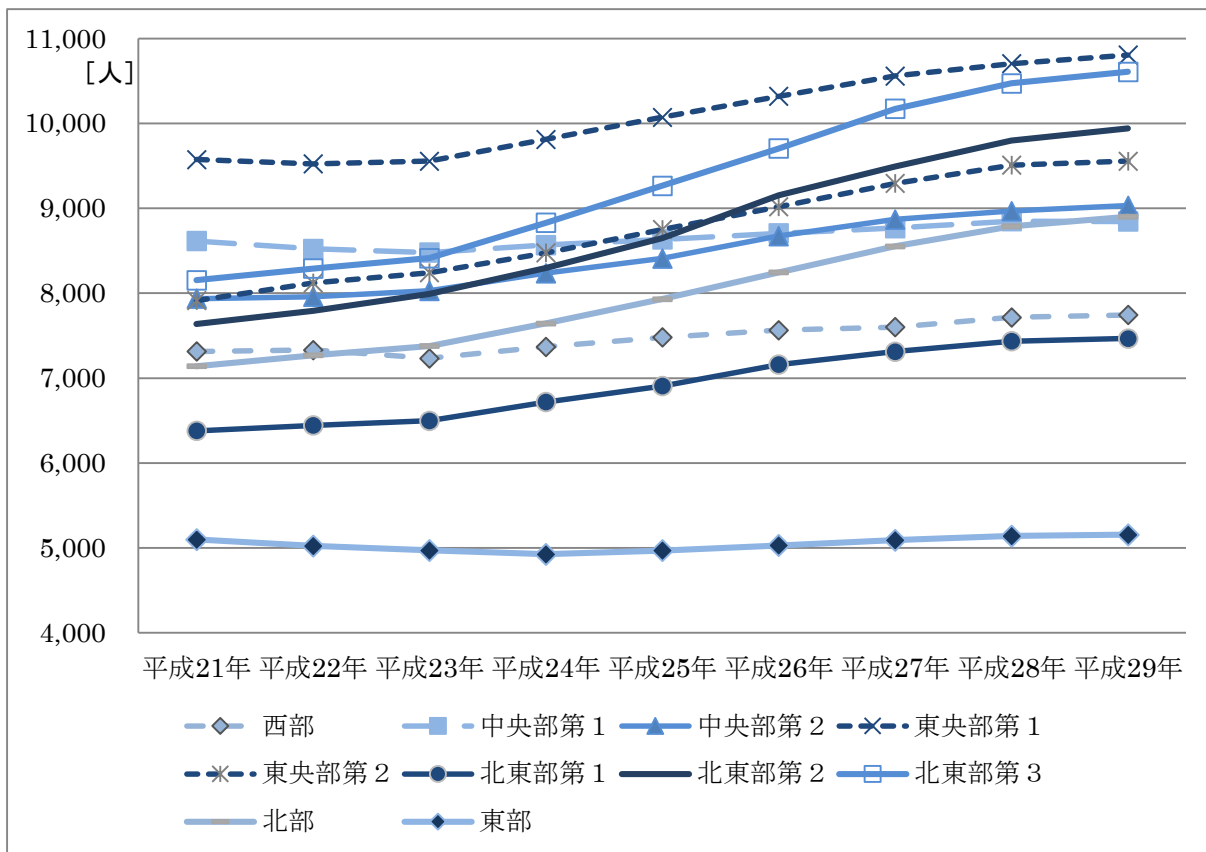
\* 住民基本台帳を基に作成（各年9月末日現在。ただし、平成29年は3月末日現在。）

\* 平成21～23年は外国人登録を含む

## 5 日常生活圏域別高齢者数の推移

日常生活圏域別の高齢者数は、平成27年に圏域の見直しを行ったことにより、東部圏域を除く旧市内9圏域が概ね1万人程度以下に平準化され、圏域間における大きな差はなくなりました。

圏域ごとの推移は、平成24年以降はすべての圏域が増加傾向となっています。



[人]

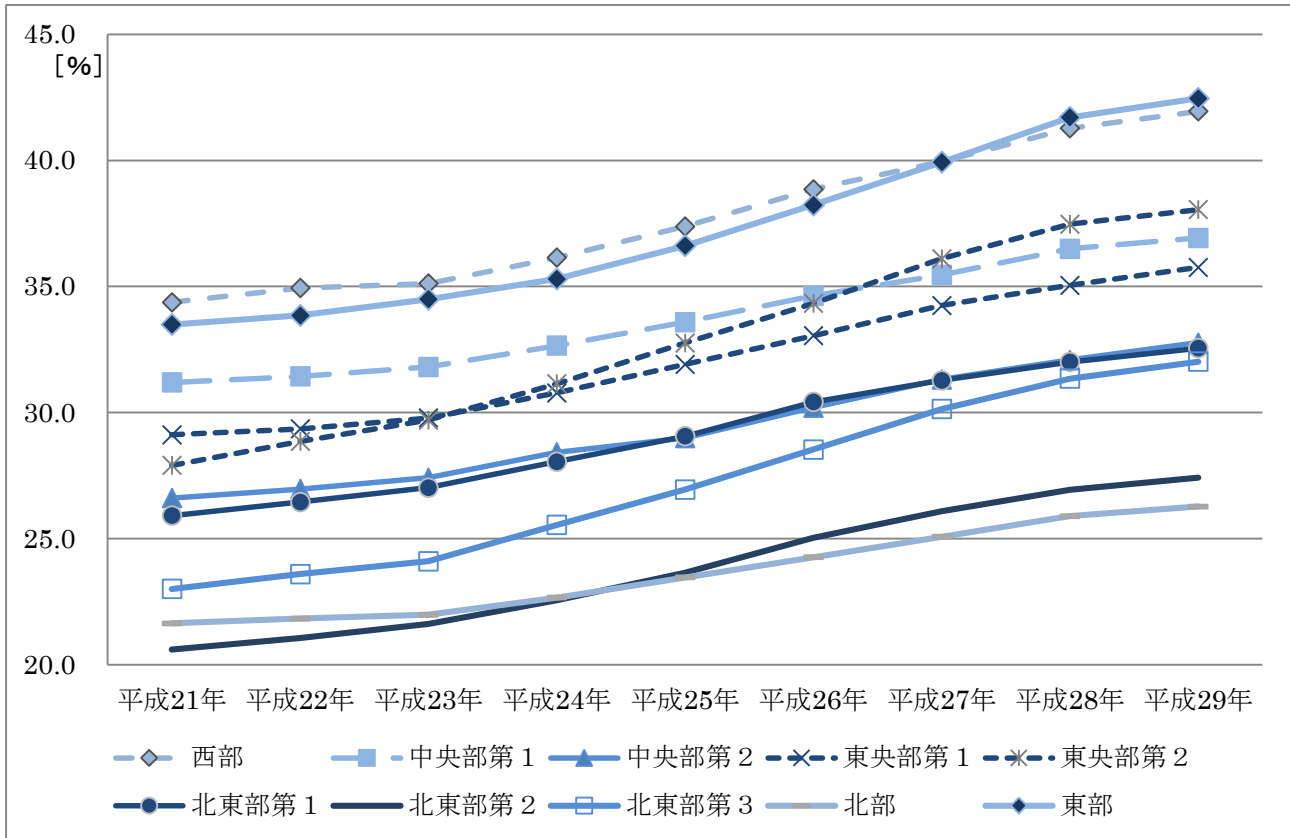
区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
西部	7,314	7,332	7,233	7,370	7,481	7,566	7,602	7,717	7,745
中央部第1	8,616	8,524	8,479	8,568	8,634	8,706	8,768	8,849	8,845
中央部第2	7,936	7,959	8,030	8,237	8,410	8,674	8,871	8,969	9,033
東中央部第1	9,575	9,525	9,557	9,814	10,073	10,321	10,560	10,706	10,807
東中央部第2	7,915	8,122	8,243	8,477	8,751	9,019	9,295	9,509	9,556
北東部第1	6,380	6,444	6,498	6,719	6,907	7,160	7,312	7,436	7,467
北東部第2	7,639	7,791	7,992	8,299	8,650	9,155	9,495	9,798	9,944
北東部第3	8,153	8,292	8,414	8,831	9,267	9,706	10,173	10,474	10,609
北部	7,141	7,270	7,378	7,645	7,931	8,246	8,554	8,790	8,903
東部	5,099	5,024	4,970	4,926	4,969	5,029	5,091	5,141	5,155

\* 住民基本台帳を基に作成（各年9月末日現在。ただし、平成29年は3月末日現在。）

\* 平成21～23年は外国人登録を含む

## 6 日常生活圏域別高齢化率の推移

日常生活圏域別の高齢化率の推移は、東部圏域が42.5%と最も高く、次いで西部圏域の41.9%となっています。一方、最も高齢化率が低い北部圏域は26.3%と、全国の高齢化率\*（27.3%）と比較しても低い割合となっています。



[人]

区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
西部	34.4	34.9	35.1	36.1	37.4	38.9	39.9	41.3	41.9
中央部第1	31.2	31.4	31.8	32.7	33.6	34.6	35.5	36.5	36.9
中央部第2	26.6	27.0	27.4	28.4	29.0	30.2	31.3	32.1	32.8
東中央部第1	29.1	29.3	29.8	30.8	31.9	33.0	34.2	35.0	35.8
東中央部第2	27.9	28.9	29.7	31.1	32.8	34.3	36.1	37.5	38.0
北東部第1	25.9	26.4	27.0	28.0	29.1	30.4	31.3	32.0	32.5
北東部第2	20.6	21.1	21.6	22.6	23.6	25.0	26.1	26.9	27.4
北東部第3	23.0	23.6	24.1	25.5	26.9	28.5	30.1	31.3	32.0
北部	21.6	21.8	22.0	22.7	23.5	24.3	25.1	25.9	26.3
東部	33.5	33.9	34.5	35.3	36.6	38.2	39.9	41.7	42.5

\* 住民基本台帳を基に作成（各年9月末日現在。ただし、平成29年は3月末日現在。）

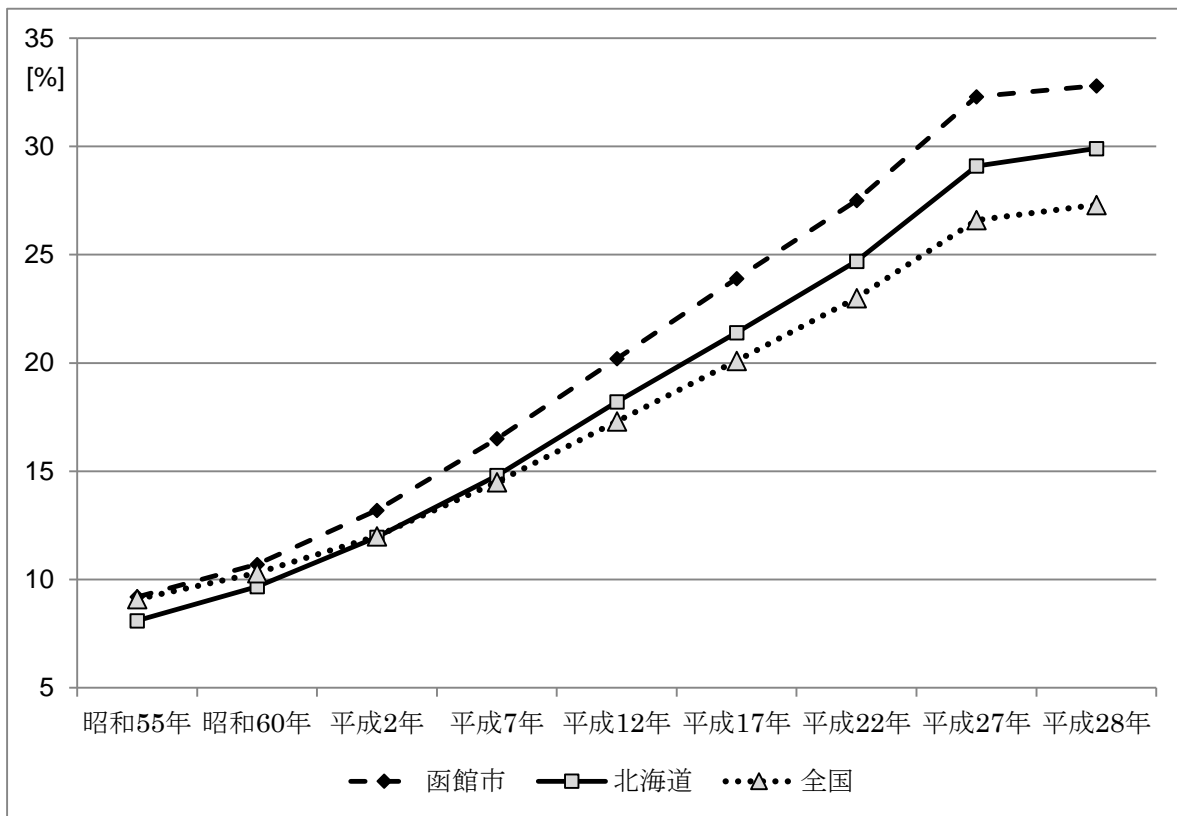
\* 平成21～23年は外国人登録を含む

\* 総務省統計局の人口推計（平成28年10月確定値）



## 7 高齢化率の比較

本市の高齢化率を北海道，全国と比較すると，昭和 55 年に北海道，全国とほぼ同じでしたが，平成 28 年には 32.8%と，北海道の 29.9%，全国の 27.3%を大きく上回り，高齢化が顕著になっています。



区分	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年
函館市	9.2	10.7	13.2	16.5	20.2	23.9	27.5	32.3	32.8
北海道	8.1	9.7	12.0	14.8	18.2	21.4	24.7	29.1	29.9
全国	9.1	10.3	12.0	14.5	17.3	20.1	23.0	26.6	27.3

\* 昭和 55～平成 27 年は国勢調査(昭和 55～平成 12 年は合併町村を含む)

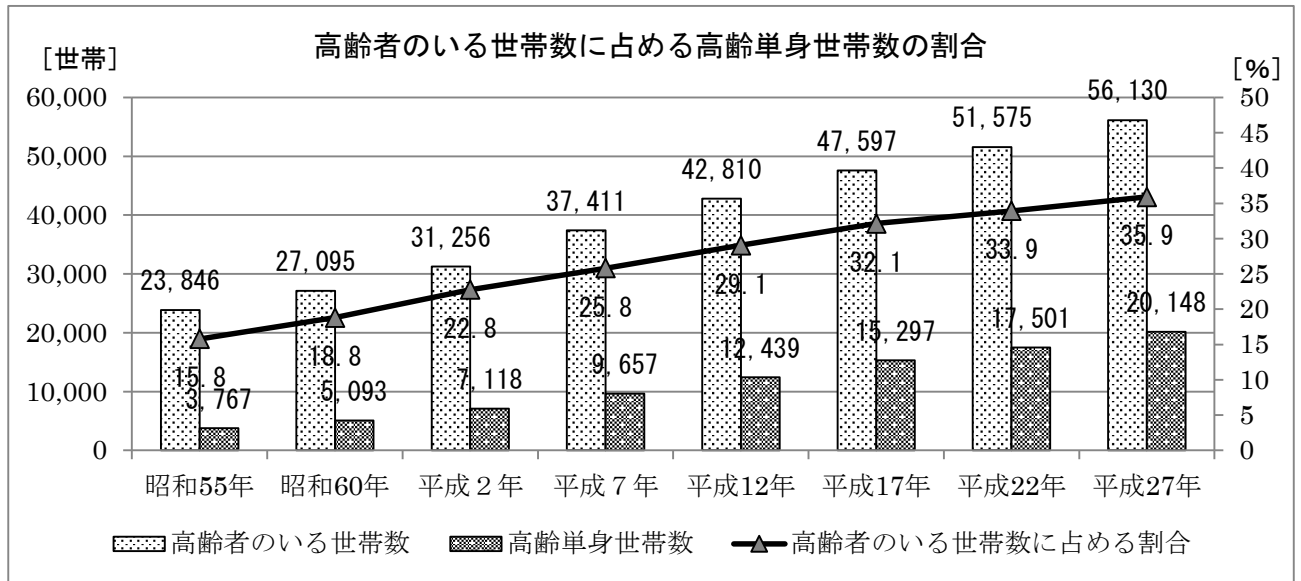
平成 28 年は以下を基に作成

- ・全国，北海道は総務省統計局の人口推計（平成 28 年 10 月確定値）
- ・函館市は住民基本台帳（平成 28 年 9 月末日現在）

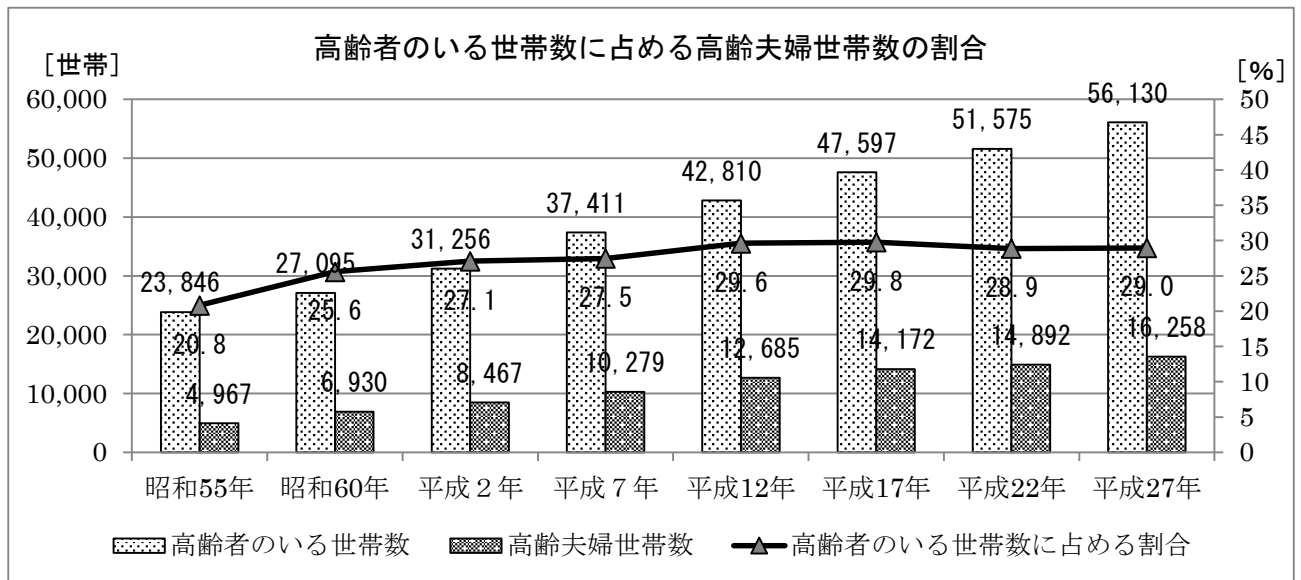
## 8 高齢者の世帯状況

本市の高齢単身世帯数は、平成 17 年に高齢夫婦世帯数<sup>†</sup>を上回り、平成 27 年には 2 万 148 世帯となっています。

65 歳以上の親族のいる世帯数（高齢者のいる世帯）に占める高齢単身世帯数の割合は 35.9%と、高齢者のいる世帯のうち 3 世帯に 1 世帯以上がひとり暮らしの高齢者世帯となっており、全国的な傾向<sup>‡</sup>と同様、本市においてもひとり暮らしの高齢者世帯が増加しています。



\* 国勢調査を基に作成(昭和 55～平成 12 年は合併町村を含む)



\* 国勢調査を基に作成(昭和 55～平成 12 年は合併町村を含む)

<sup>†</sup> 高齢夫婦世帯：夫 65 歳以上、妻 60 歳以上の夫婦 1 組のみの一般世帯

<sup>‡</sup> 全国の高齢単身世帯数は、平成 17 年の 386 万世帯から平成 27 年には 592 万世帯に増加

## 9 日常生活圏域別高齢者の世帯状況

平成 27 年の国勢調査における日常生活圏域別の世帯状況は、65 歳以上の高齢者がいる世帯数が最も多いのは、東中央部第 1 圏域で 7,108 世帯となっています。

一方、全世帯数に占める割合は、東部圏域が最も高く、7 割近くが高齢者のいる世帯となっており、最も低い北部圏域でも 35.9%と、すべての圏域で 3 世帯に 1 世帯以上が高齢者のいる世帯と、世帯の高齢化が進んでいる状況となっています。

また、高齢者単身世帯の割合は西部圏域が 23.2%と、高齢者夫婦世帯<sup>§</sup>の割合は東部圏域が 15.6%と最も高くなっています。

区分	全世帯数 (A)	65歳以上の親族がいる世帯数(B)					
				高齢者単身世帯数(C)		高齢者夫婦世帯数(D)	
		(B/A)		(C/A)		(D/A)	
西部	9,232	5,073	55.0%	2,139	23.2%	1,127	12.2%
中央部第1	12,255	5,888	48.0%	2,638	21.5%	1,193	9.7%
中央部第2	15,160	6,082	40.1%	2,595	17.1%	1,433	9.5%
東中央部第1	14,545	7,108	48.9%	2,975	20.5%	1,742	12.0%
東中央部第2	10,566	5,651	53.5%	1,695	16.0%	1,589	15.0%
北東部第1	11,308	4,946	43.7%	1,869	16.5%	1,239	11.0%
北東部第2	16,501	6,137	37.2%	1,870	11.3%	1,698	10.3%
北東部第3	14,067	6,572	46.7%	1,737	12.3%	1,899	13.5%
北部	15,259	5,475	35.9%	1,804	11.8%	1,415	9.3%
東部	4,758	3,198	67.2%	826	17.4%	744	15.6%
計	123,651	56,130	45.4%	20,148	16.3%	14,079	11.4%

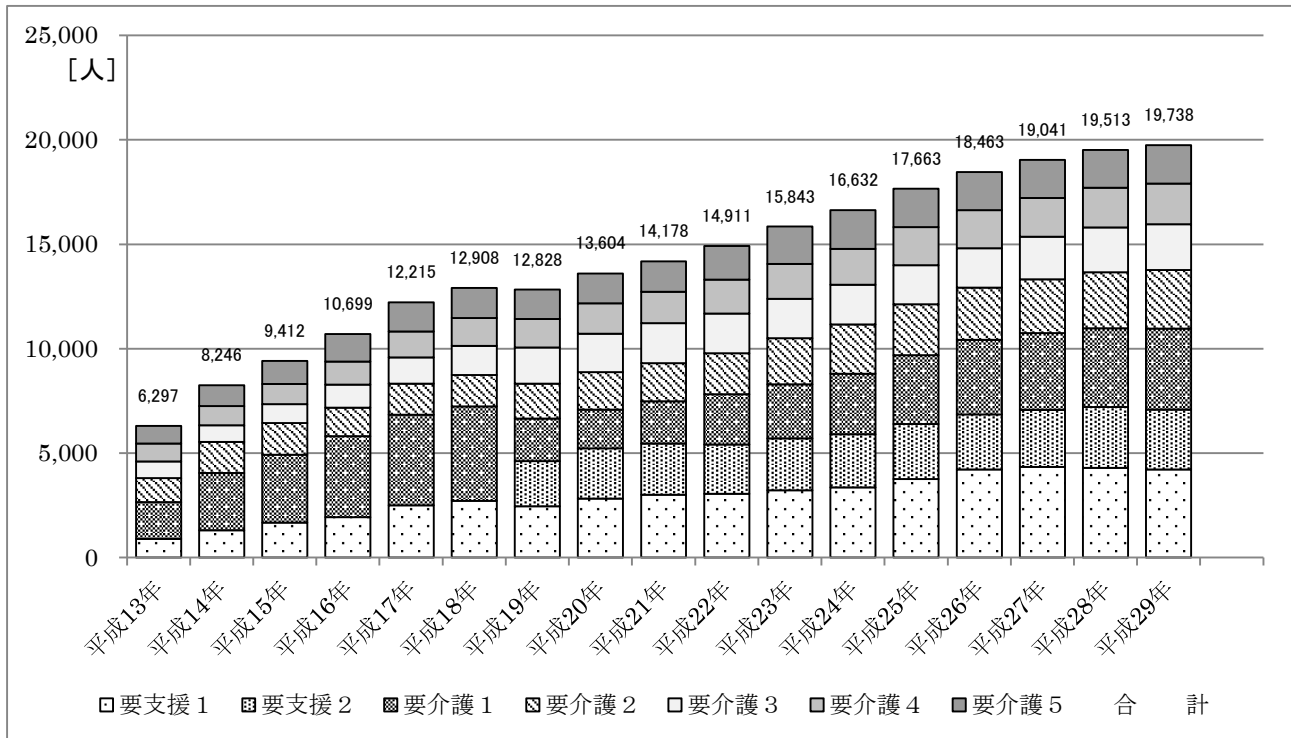
\* 国勢調査を基に作成（平成 27 年）

<sup>§</sup> 高齢者夫婦世帯：夫婦とも 65 歳以上の夫婦 1 組のみの一般世帯

## 第2節 要介護（要支援）認定者の現状

### 1 要介護（要支援）認定者数の推移

要介護（要支援）認定者数の推移をみると、介護保険制度が始まって以来、増加傾向にあり、平成13年3月末日現在の6,297人から平成29年1月末日現在には1万9,738人となっており、16年間でおよそ3.1倍に増加しています。



区分	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年
要支援1	3,049	3,220	3,359	3,758	4,218	4,339	4,300	4,217
要支援2	2,364	2,481	2,547	2,643	2,643	2,731	2,911	2,865
要介護1	2,401	2,593	2,891	3,296	3,565	3,684	3,760	3,884
要介護2	1,976	2,211	2,359	2,430	2,493	2,573	2,695	2,808
要介護3	1,896	1,886	1,906	1,865	1,887	2,033	2,132	2,191
要介護4	1,622	1,662	1,719	1,824	1,824	1,861	1,913	1,942
要介護5	1,603	1,790	1,851	1,847	1,833	1,820	1,802	1,831
合計	14,911	15,843	16,632	17,663	18,463	19,041	19,513	19,738

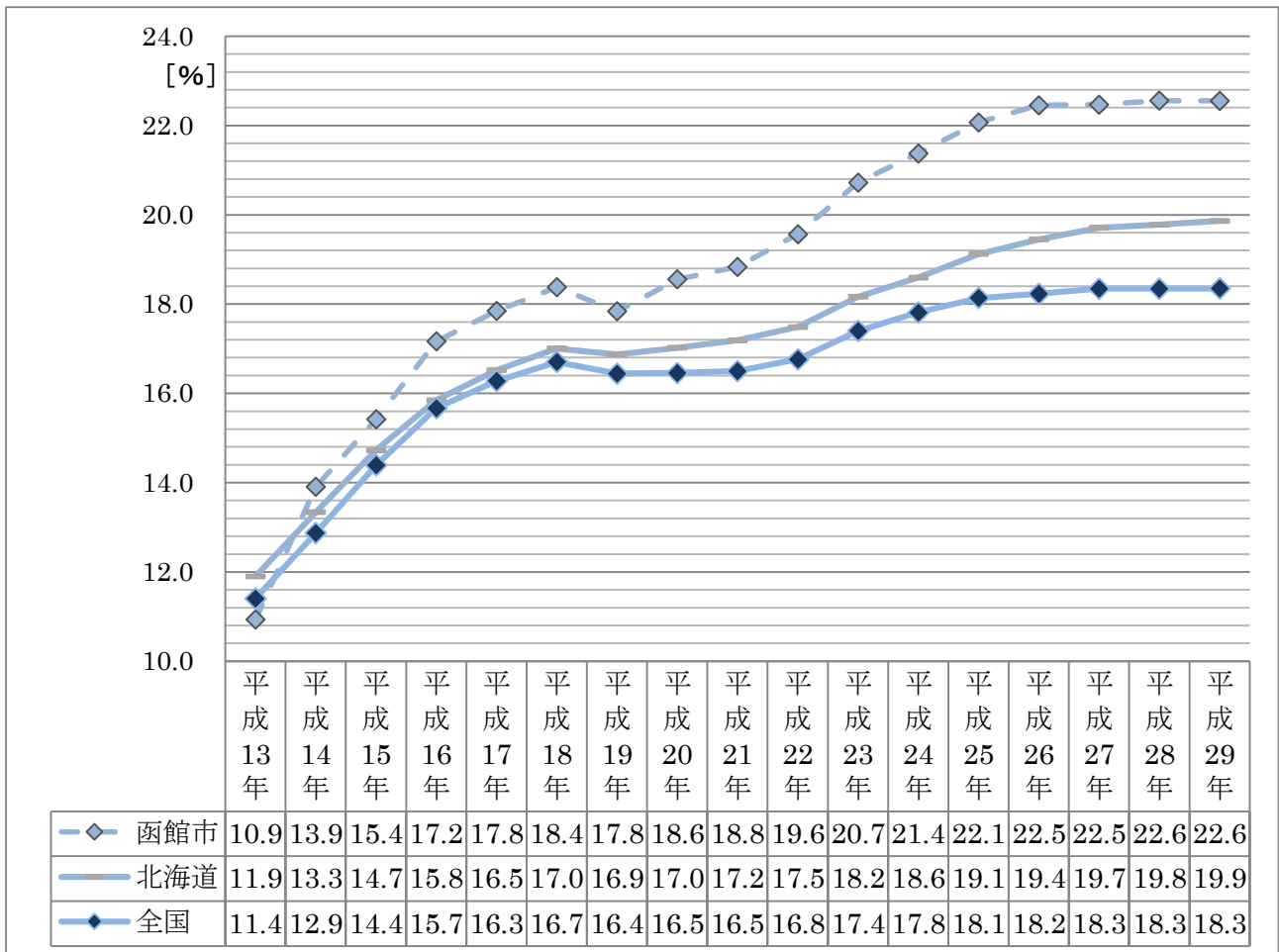
\* 介護保険事業状況報告を基に作成（各年3月末日現在と平成29年1月末日現在）

\* 認定者数には第2号被保険者で要介護（要支援）認定を受けた者を含む

\* 経過的要介護は要介護1として集計

## 2 要介護（要支援）認定者の割合の推移

高齢者数（第1号被保険者数）に対する要介護（要支援）認定者数の割合（出現率\*\*）を全国や北海道と比較すると、高い割合で推移しており、平成29年1月末日現在では22.6%となっています。



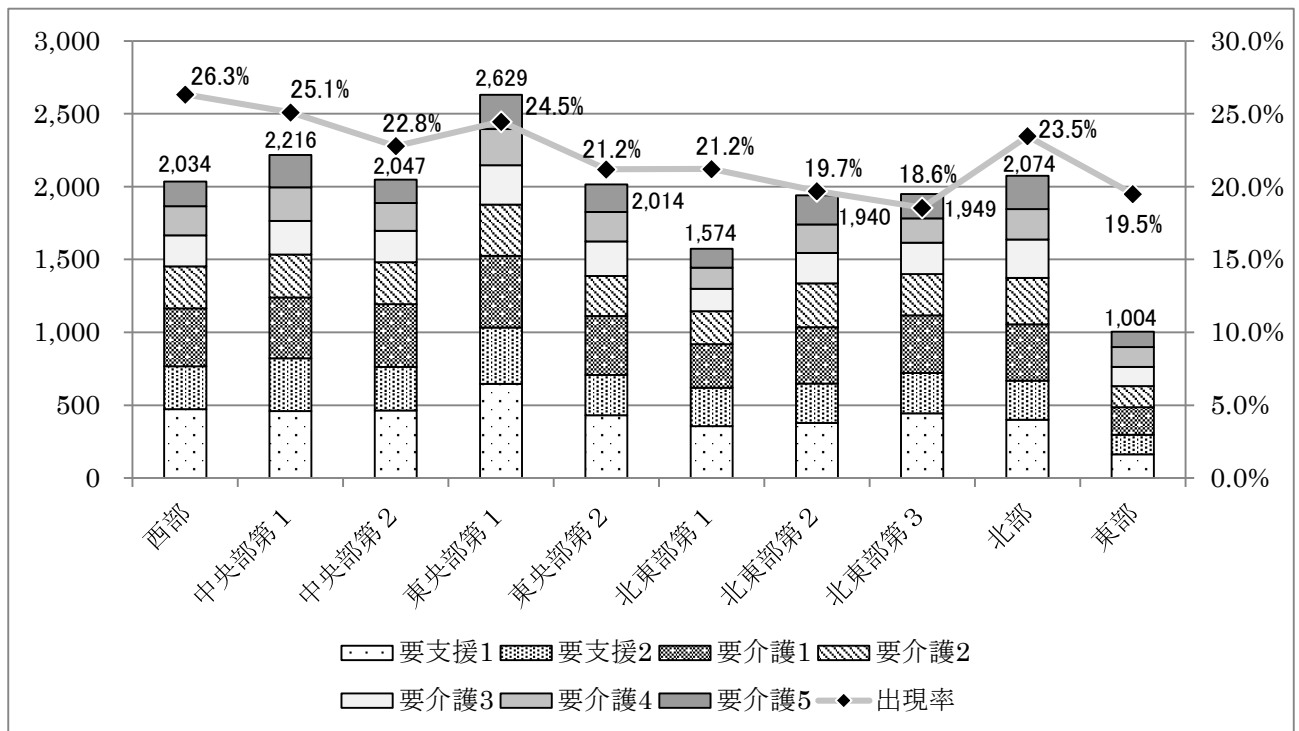
\* 介護保険事業状況報告を基に作成（各年3月末日現在と平成29年1月末日現在）

\*\*出現率：高齢者人口（第1号被保険者数）に対する認定者数（第2号被保険者を含む）の割合  
 （参考）要介護認定率：第1号被保険者数に占める認定者数（第2号被保険者を含まない）の割合

### 3 日常生活圏域別の要介護（要支援）認定者数と割合

日常生活圏域別の要介護（要支援）認定者数は、高齢者数が最も多い東央部第1圏域が2,629人と最も多くなっています。

高齢者数に対する認定者数の割合（出現率）をみると、西部圏域と中央部第1圏域が25.0%を超え、高齢者の4人に1人以上が要介護認定を受けている状況になっています。一方、東部圏域は19.5%と北東部第3圏域に次いで低い値となっており、高齢化率が40%を超える西部圏域と東部圏域<sup>††</sup>の2圏域は、市内でも特に高齢化が進んでいる地域ですが、認定者の割合に差があります。



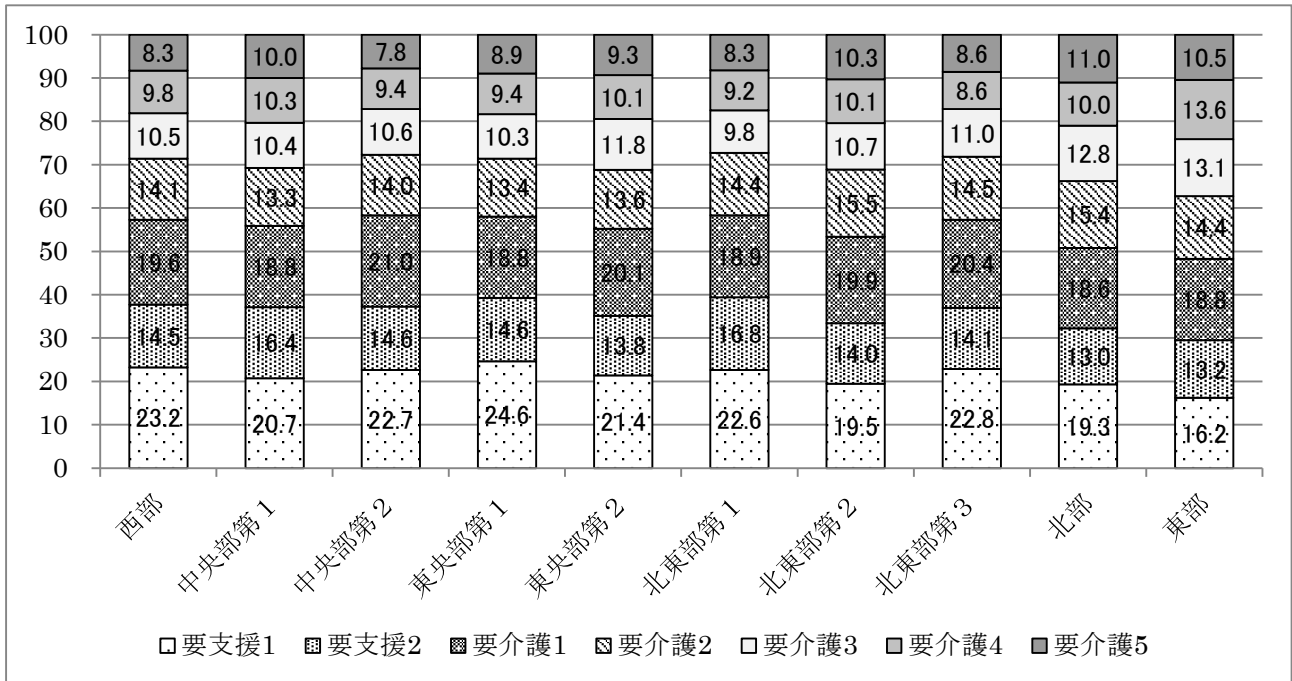
\* 函館市介護保険システムを基に作成（平成28年12月末日現在）

\* 認定者数は函館市の住所地特例対象者数を含まない数値

\* 出現率：高齢者数（平成28年12月末日現在の住民基本台帳）に対する認定者数（第2号被保険者を含む）の割合

<sup>††</sup> 高齢化率は西部圏域41.6%、東部圏域42.0%（平成28年12月末日現在）

日常生活圏域別の要介護度の割合は、旧函館市に属する圏域は要支援1から要介護1までの軽度者の割合が50%以上となっていますが、東部圏域では要介護3、4、5といった中重度者の割合が高くなっています。



\* 函館市介護保険システムを基に作成（平成28年12月末日現在）